

# セッション 児童ら手拍子

## 小牧・小木小 あす公演の奏者訪問

小牧市小木小学校で十二日、音楽の出前授業があり、五年生六十人がピアノ

とドラムのプロ奏者の技術に触れ、感性を磨いた。クラシックのピアノ奏者



堀越さん(中央右)のドラムの演奏に合わせて手をたたき、児童と三船さん(中央右奥) 小牧市小木小で

三船優子さんと、ジャズやポップス、ロックで活躍するドラム奏者の堀越彰さんが講師を務めた。二人は五年前に知り合い、各地でピアノとドラムの共演コンサートを開き、オーケストラのような厚みのある演奏を披露している。

小牧市味岡市民センターで十四日にある公演を前に地元の子どもたちに音楽の持つ可能性を体感してもらおうと、こまき市民文化財団が出前授業を企画した。体育館のステージに、グランドピアノとドラムが並び、二人はクラシックの名曲「ダツタン人の踊り」を

けの習慣が根付いていない人が一定割合いることも判明した。鍵を掛けないからといって粗末に扱っ

小



ンロックを活用する参加者 いずれも小牧市の住友理 工駐輪場で

披露。馬が駆けるような小気味よいドラムの打音と優雅なピアノの旋律が絡み、児童は引き込まれるように聞き入っていた。

演奏後は、三船さんと堀越さんがそれぞれの楽器の周りに児童を集めて、音を響かせる仕組みなどを解説

### 基準超える有害物質 小牧の2カ所で検出

県は十二日、小牧市二重堀の日本ガイシ小牧事業所の敷地と同市野口の小牧岩倉衛生組合、ごみ処理施設跡地の二カ所で、地下水と土壌から基準値を超える有害物質を検出したと発表した。健康被害は報告されていない。

日本ガイシ小牧事業所の敷地では同社の調査で、地下水一リットルから基準の十八

に計五十枚を全場の壁に張った。写真による作品展は、講

した。五年生が練習している合唱曲を一人が伴奏すると、児童は伸びやかな歌声を響かせた。

二人の公演は十四日午後三時開演。一般二千五百円、二十五歳以下千円。同財団0568(71)9700 (藤原啓嗣)

倍となる〇・七三ミリのシスー1、2-ジクロロエチレンを検出した。過去に金具の洗浄で使った有機塩素系溶剤が原因とみられる。専用井戸を掘って地下水をくみ上げ、浄化する予定。

倉庫の建設を進める、衛生組合ごみ処理施設の跡地では、組合の調査で土壌一リットルから基準の一・三倍となる〇・〇一三ミリのヒ素を検出した。汚染が飛散、拡大しないよう対処し、継続して調査する。

新樹 ひと 一花 風鈴 喜雨 風音 親指 村ひ 部屋 干物 もう小 筏師の 目に 百選の